

【審議した議案】

消防団員の報酬増額！

猪苗代町消防団の設置等に関する条例の一部改正

◎団員の報酬の改正

3万2千円→3万6500円

【主な質疑】

問 改正に至った経緯は。団員のみの増額は。

答 消防庁の「消防団の処遇等に関する検討会」が発足された。その中間報告として様々な提言がされたことを受け、改正に至った。非常勤消防団員の報酬及び報酬に係る基準について「団員」は3万6500円と上程された。団員以外の階級の金額については基準額と同額以上になっている。

犬・ねこ処理手数料改正

猪苗代町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

飼い主の都合により町が申請を受けペット等の死体を処理する場合の手数料の改正。

◎1体につき千円

↓犬1体1万2千円

ねこ1体8千円

【主な質疑】

問 なぜ、犬とねこに分けたのか。

答 町が委託するペット霊園で犬と猫で料金が違うため。手数料は特定のものに対する役務の対価であるため実費を負担していただくことが正当であることから改正に至った。

いなわしろ聖苑使用料

猪苗代町聖苑条例の一部改正

「外科手術・事故等による四肢」火葬について、使用者からの収骨の希望により、使用する炉に応じた料金を定める。

◎汚物炉使用の場合3千円

火葬炉使用の場合7千円

※町民が使用する場合の料金



人権擁護委員候補者の推薦について
意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、推薦することに異議がない旨、答申しました。

任期は令和4年7月1日から令和7年6月30日まで。



ながお さちこ
長尾 幸子氏
(上新町)

※人権擁護委員は、町が、議会の意見を聞いたうえで法務局に推薦し、法務局は弁護士会等の意見を求め検討し、法務大臣が委嘱します。

議員提出議案 提出議案

ロシアによるウクライナ侵攻に断固反対する決議

提出者：星野あけみ、賛成者：五十嵐ミエ子

【決議文】

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権と領土を武力で侵害する行為で、国連憲章と国際法に違反し、国際秩序の根幹を揺るがすものである。

また、ウクライナ国内においては、子どもを含めた多くの人命が奪われており、このような侵略行為は断じて認められない。

さらにプーチン大統領の核の使用を示唆するような発言に対しても、核被爆国として厳しく非難するものである。

猪苗代町議会は、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に断固抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置を図り、ロシア軍の即時完全撤退を求めることを強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月10日

猪苗代町議会

子育て世帯・非課税世帯等支援予算が可決！臨時会

(1月28日)

あらまし

令和4年第1回臨時会は1月28日開催され、令和3年度補正予算1件について、原案のとおり全会一致で可決しました。

【審議した議案】

○令和3年度

一般会計補正予算

《民生費》

『灯油購入助成事業』

原油価格高騰による生活困窮世帯（住民税非課税世帯）への影響を緩和するための予算1549万4千円を計上。

◎対象者…1500世帯

◎助成金額…1万円／1世帯

※県の原油高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業補助金を活用、200万円を歳入に計上。

【主な質疑】

問 原油高騰での助成の1万円の根拠は。

答 各市町村、足並みが定まっているわけではないが、会津管内、近隣市町村の状況を考慮して1万円と決定した。

『子育て世帯への臨時特別給付金給付事業』

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するための予算8993万3千円を計上。

◎対象児童数…1770人（見込）

◎助成金額…5万円／1人

※全額、国庫補助金を活用

【主な質疑】

問 国から示された三つの給付方式（①現金一括10万円 ②5万円＋5万円 ③5万円＋クーポン）があったが大多数の世帯が②の方式となった。町としてそれを採用した経緯は。

答 多数の世帯が現金給付を希望しているという報道により、経費、時間を要するクーポンではなく、全額、現金給付とした。



新学期の準備等で出費が多くなる時期

問 10万円一括給付をしたところもあるようだが、当町は5万円＋5万円とし、なぜ1か月程度ずれたのか。

答 残りの5万円については国の補正予算を待った上での給付となった。国としては新学期の準備等、子育て世帯が現金を必要とする3月下旬までにお届けするというスケジュール案が示されている。

『住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業』

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯を支援するための予算1億6972万円を計上。

◎対象者…住民税非課税世帯及び新型コロナウイルスの影響により

家計が急変した世帯

◎対象者数…1664世帯（見込）

◎助成金額…10万円／1世帯

※全額、国庫補助金を活用

《総務費》

・役場庁舎の燃料費

12万5千円を増額

《土木費》

・道路除雪費の燃料費

117万円を増額

・体験交流館の燃料費（暖房・除雪費）

44万6千円を増額

《教育費》

・小学校管理費の燃料費

24万1千円を増額

・中学校管理費の燃料費

123万9千円を増額